



平成24年12月4日

各 位

上場会社名 株式会社 ロック・フィールド
代表者 代表取締役社長 岩田 弘三
(コード番号 2910)
問合せ先責任者 執行役員経理部部長 伊澤 修
(TEL 078-435-2800)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年6月11日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年4月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成24年5月1日～平成24年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	24,695	1,047	1,072	600	45.18
今回修正予想(B)	23,586	616	645	365	27.56
増減額(B-A)	△1,109	△431	△427	△235	
増減率(%)	△4.5	△41.2	△39.8	△39.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年4月期第2四半期)	24,084	1,029	1,057	586	44.18

平成25年4月期通期個別業績予想数値の修正(平成24年5月1日～平成25年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	50,700	2,780	2,815	1,460	109.93
今回修正予想(B)	48,920	1,851	1,892	934	70.32
増減額(B-A)	△1,780	△929	△923	△526	
増減率(%)	△3.5	△33.4	△32.8	△36.0	
(ご参考)前期実績 (平成24年4月期)	49,158	2,552	2,589	1,438	108.28

修正の理由

当第2四半期累計期間において景気の回復が見られない中、個人消費の節約志向は継続しており、そうざい業界においてもコンビニエンスストアにおけるそうざい販売の強化や百貨店における集客減や増床や改装に伴う競合の新規参入等競争は一段と激化しております。当第2四半期累計期間における売上高については、消費の節約志向の継続や競争の激化と合わせて利益確保のためのコスト削減とりわけ廃棄率低減の取り組みが閉店間際の機会ロスを招いたことなどにより前第2四半期累計期間に比べて客数が減少し、当初予想を下回る見込みとなりました。利益面につきましては、売上高減少要因により減益となりました。

通期業績につきましても、今後の景気回復が見込めない中、積極的な販売により客数は回復しつつあるものの大きな改善は予想できず、売上高、利益とも当初予想を下回ると判断したことにより平成25年4月期通期業績予想を修正するものであります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成24年6月11日発表)	—	18.00	—	32.00	50.00
今回修正予想	—	18.00	—	22.00	40.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (平成24年4月期)	—	18.00	—	32.00	50.00

(注)前期の期末配当額には、創業40周年記念配当10円を含んでおります。

修正の理由

当社は、中期的な事業展開のための内部留保の充実に留意しつつ、事業収益ならびにキャッシュ・フローの状況等を勘案して、配当性向40%以上を目途に剰余金の分配を行う方針であります。

当期の配当予想につきましては、通期の業績予想が前回予想を下回る見通しであることから当社の配当方針等を総合的に勘案し修正するものです。 なお、中間配当につきましては前回予想からの変更はございません。

※本資料に記載されている業績等の予想数値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上